

POLAR NEWS (9) ボイラー水系(炉筒煙管用)

客 先：みちのくコカコーラボトリング株式会社 秋田工場

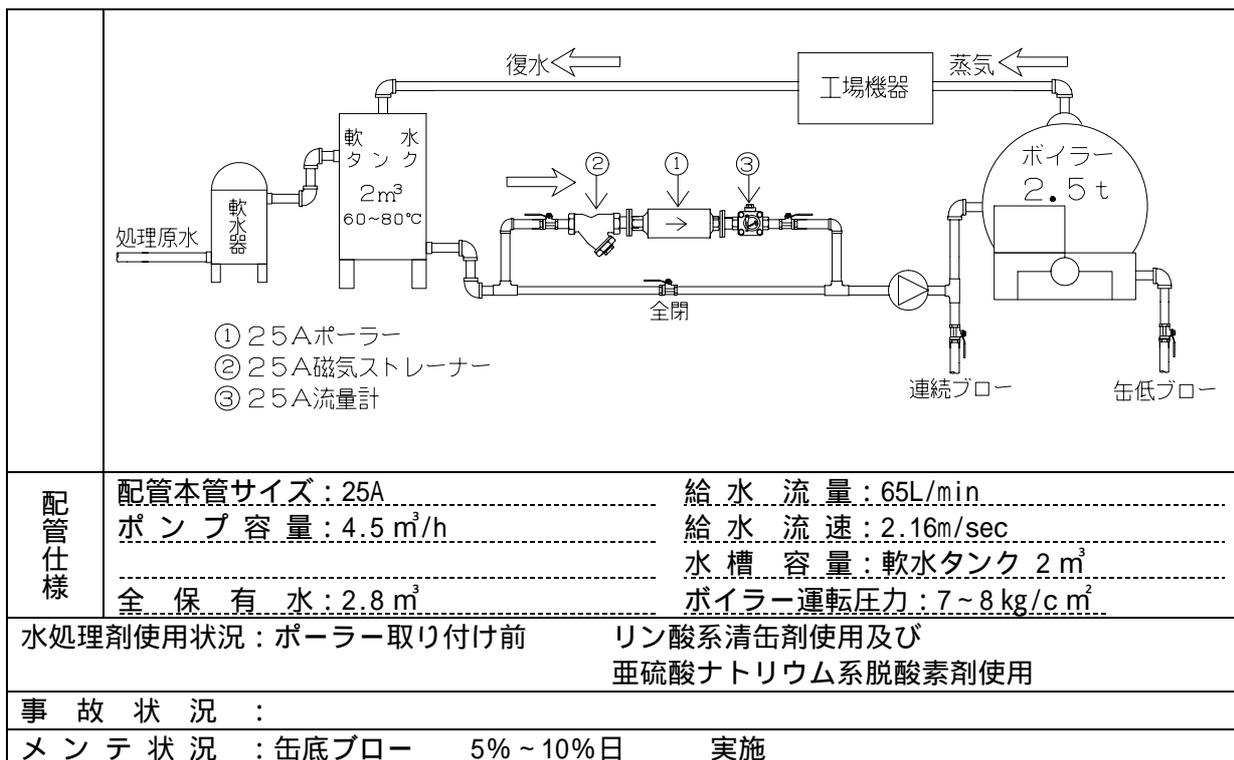
設 置 日：1984年(昭和59)11月9日

目 的：炉筒煙管ボイラーのスケール付着防止及び防食

ボイラー仕様：IHI 呉ボイラー, 型式 KMH-04 型, 伝熱面積 22.83 m², 煙管式 2t ボイラー

説 明：ボイラー設置前は清缶剤及び脱酸素剤を使用してスケール防止と腐食防止を計って参りました。ボイラー型式：PI - 25F(25A)3 点セットを下図の様に設置し、2年間に渡る無注薬で使用期間中に定期的に缶内開放検査を行いその効果を以下の様に確認しました。

設 置 図：



(注)ボイラーのスケール及び錆対策にボイラーを使用する場合には、必ず軟水器と併用し代理店と十分に連絡を取り、取り付け位置及びボイラーサイズ(給水ポンプ能力に合わせる)の選定を行って下さい。



写真 1

ポーター設置前は薬品使用の為缶内には軟水器よりリークした白色のカルシウム系のスケールの付着及び腐食が多い。

(注) ポーターは上記状態より高圧ジェット水による洗浄の後に設置されました。

ポーター設置一年後のボイラー開缶結果

缶内はポーター処理効果による白色の軟らかいカルシウムの粉体結晶に薄く覆われ、これによりスケール防止剤としての清缶剤、防食剤としての脱酸剤の投入がないにも関わらずスケールの付着が無く、錆の発生も起こっていませんでした。

更にパイプ上の白色粉体を手でこすり落としても、パイプ表面に錆の発生が無い事を確認しました。

又、年1回のジェット水による清掃により簡単にきれいにする事が出来ました。

従ってポーターの効果は、極めて効果的との客先の評価を得た次第です。



写真 2